

1. 研究活動

モバイルデバイスの将来の発展とそれらの情報教育への活用について	2009年度～ 継続研究		昨今進化を遂げているモバイルデバイス（スマートフォンやネットPC等）の今後の展望や情報教育にどう実践していくかを考察している。
高等教育機関における情報リテラシーの教育・実践について	2009年度～ 継続研究		ネットワークの進歩は目覚ましいが使う側の教育が充分になされていない現状がある。見直し更に高等教育でどのように実践していくか考察している。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目 情報機器の操作		◆前期 ◆後期	今年度（2011年度）後期より東キャンパスでは、Windows、西キャンパスではMac OSを異なるOS環境での授業を展開している。毎回のレジュメに於いて、「前回の復習、今回の授業内容、タイピング（その時勢のニュースや、学生に伝えていきたいこと、授業内容等）」の作成・配布を行い、復習・予習の効率化を図る。レジュメには、必要なことの項目のみを提示し、学生へは「重要事項」について、『メモ取り』の習慣づけさせることを行う。これを毎回指示している。「Excel」に於いては、請求書を作成することにより概念を理解させる。個々の学生の能力に差があるため、一人一人へのフォローを欠かさずに行うようにしている。また、授業時に作成した物を、提出させるためのファイル共有サーバを、自室研究室に構築して、社会に出た際に当たり前のように行われているファイルやフォルダ、ネットワークの概念等を教育・実践している。評価においては、授業時間内のタイピング「Word」の各個人の習熟度、「PowerPoint」を使いプレゼンテーションを作成させ、総合的にスキルを判断している。昨年度より授業用ブログ [http://ohsakiict.gjgd.net/] を外部に設置し学生に閲覧させることにより予習と復習を工夫し、メールやtwitterを活用し24時間以内に学生への質問や相談に対応している。
工夫の概要	教材・資料等の概要		
東キャンパスでは共用モニタにWordを用いたキャプションを行い西キャンパスにおいては、プロジェクトでMac OSのソフトである「ステッキーズ」を板書の代わりに使用。授業用ファイル共有サーバでのデータ管理を行う。			

3. 学会等および社会における主な活動

名古屋芸術大学九条の会	2006. 4～現在	世話人として、情宣・ホームページの作成。
日本情報科教育学会	2011. 8～現在	